

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年02月08日

計画の名称	八日市地域における利便性・安全性の向上												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	東近江市												
計画の目標	本市中心部である八日市地域では、幹線道路の未整備区間により、東西方向の交通に支障が生じており、幹線道路整備による道路ネットワーク確保が課題となっている。 このため、八日市駅周辺市街地の幹線道路道路の充実及び円滑化を図り、安全性・利便性の高いまちづくりを実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	512	A	512	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	八日市駅周辺市街地の市内幹線道路ネットワークの円滑化により、交通事故死傷者数の低減を図る。 東近江市の交通事故死傷者数 交通事故死者数+交通事故傷者数	764人	764人	640人
2	本市の中心部である八日市地区の市民の道路整備(安全性・利便性)に対する満足度の向上を図る。 主要幹線道路および生活道路の満足度 まちづくりアンケート調査で「主要幹線道路の整備」および「地域の生活道路の整備」について、「満足」・「ふつう」と答えた割合の平均	57%	57%	59%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-
東近江市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A01-002、A01-004 東近江市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A01-002、A01-004								

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		H26	H27				H28	H29	H30					
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	東近江市	直接	-	S街路	改築	(都)小今建部上中線 (春日工区)	現道拡幅 L=580m	東近江市		■				10	-	
	A01-002	街路	一般	東近江市	直接	-	S街路	改築	(都)小今建部上中線 (聖徳工区)	現道拡幅 L=800m	東近江市	■	■	■			295	-	
	A01-003	道路	一般	東近江市	直接	-	市町村道	改築	市道八日市駅瓦屋寺線 (松尾工区)	現道拡幅 L=100m	東近江市	■	■				207	-	
											小計						512		
											合計						512		

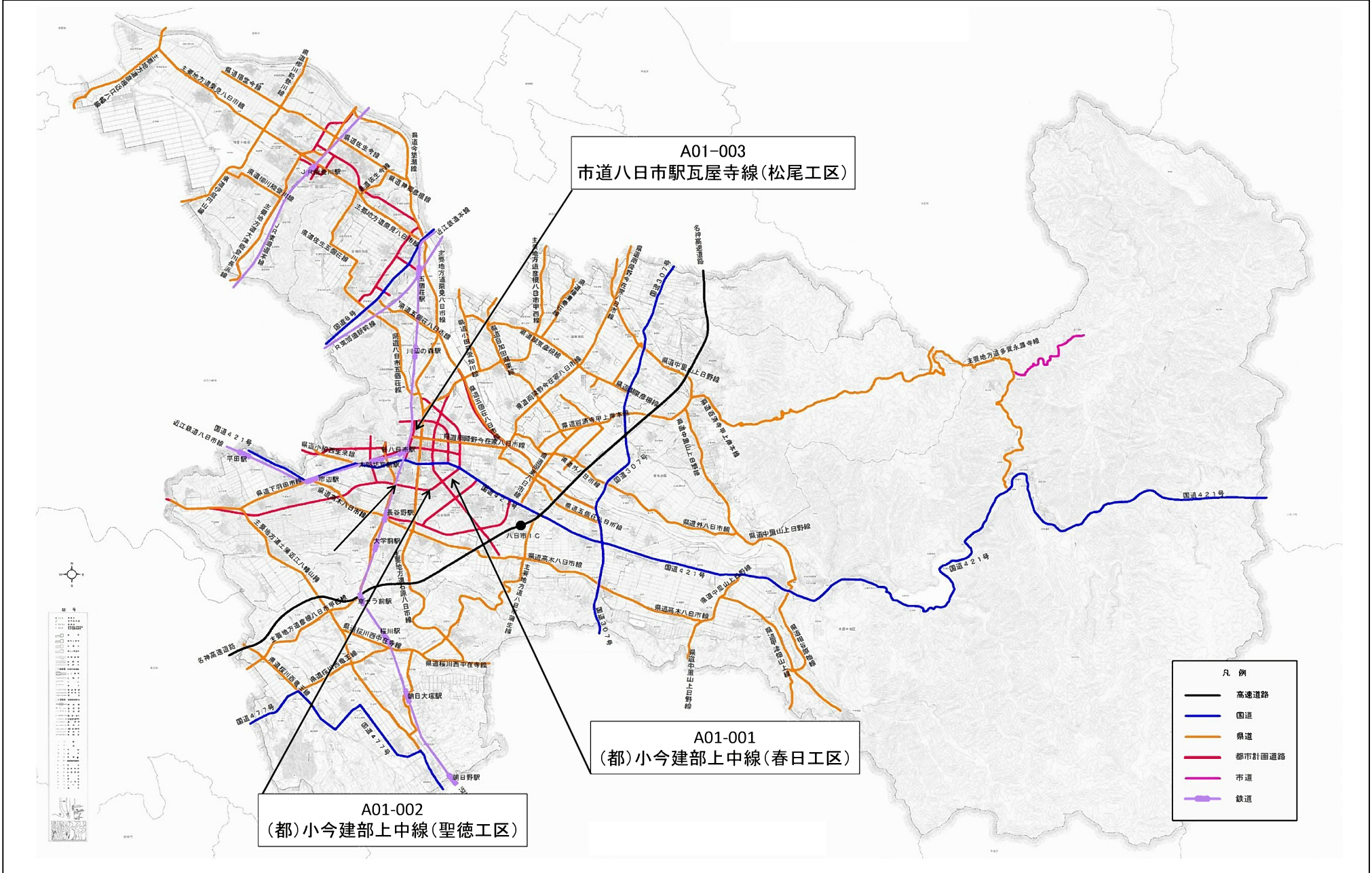
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28		
配分額 (a)	121	49	84		
計画別流用増△減額 (b)	28	0	0		
交付額 (c=a+b)	149	49	84		
前年度からの繰越額 (d)	88	12	14		
支払済額 (e)	225	47	95		
翌年度繰越額 (f)	12	14	3		
うち未契約繰越額 (g)	6	14	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	2.53	22.95	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		用地交渉（代替地）に不測の日数を要したため			

(参考図面) 防災・安全交付金

計画の名称	7 八日市地域における利便性・安全性の向上	交付対象	東近江市
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)		



事前評価チェックシート

計画の名称： 八日市地域における利便性・安全性の向上

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②計画の目標が「街路事業」として適切なものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 ③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ④地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	
II. 計画の効果・効率性 ①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。（基幹事業）	○
II. 計画の効果・効率性 ?事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。（効果促進事業）	
II. 計画の効果・効率性 ②目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤ハードとソフトの連携等を図る計画である。	
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性 ①計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ②継続的な事業の展開が見込まれる。	○